

農学知的支援ネットワーク

農学知的支援ネットワーク (JISNAS: Japan Intellectual Support Network in Agricultural Sciences) は、農学分野における国際協力活動への参加の意図を有する大学と国際農業研究機関等との連携を推進することを目的として、2009年11月30日に設立されました。農学国際教育研究センターは、そのビジョンとミッションを踏まえ、設立をリードし、事務局を預かってきました。

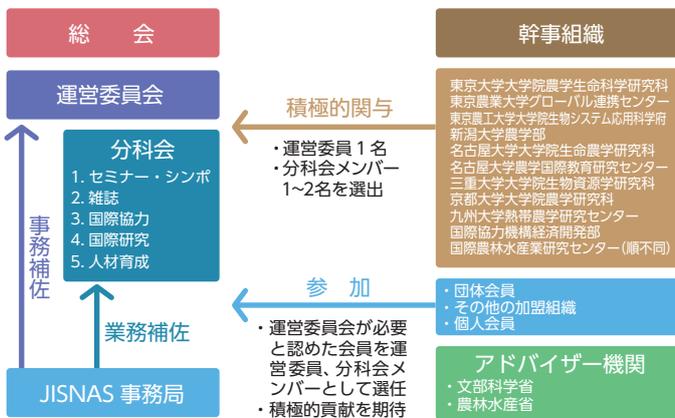
大学が国際協力に関与するには、途上国や我が国の高度専門人材の育成、途上国で生じる課題や国際開発に関する学術研究、そして、国際協力を実践と様々な形態があります。JISNAS は設立以来、農学分野における教育、研究、社会貢献等に係る様々な活動を通じて「知と経験」の共有を進めてきました。近年、途上国や新興国を含めた世界の社会・経済でのグローバル化は進展し、国際協力に求められるニーズは益々多様化・複雑化してきています。そのような趨勢に対応するために、個々の知見を越えた農学国際協力のネットワーク強化に期待が寄せられています。

JISNAS を通じた農学国際教育研究における協力の推進は、途上国の人材育成のみならず、国際教育、国際共同研究、国際協力に関わる我が国の人材の育成にも寄与し、国際社会における大学・研究機関等の役割の強化に繋がるものと考えられます。2015年には国際協力機構経済開発部、国際農林水産業研究センターにも団体会員に加わっていただき、2023年10月現在で団体会員60団体、個人会員143名を擁し、文部科学省、農林水産省の支援を受けています。

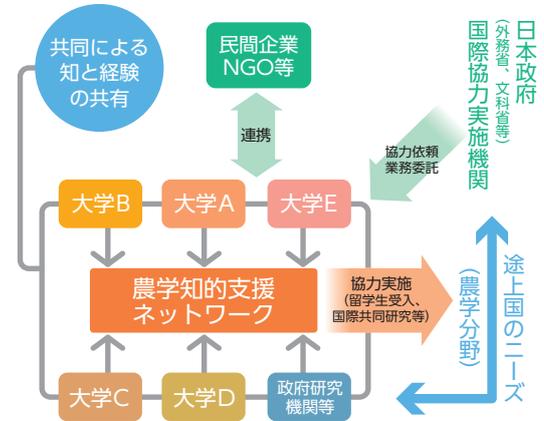
分科会 (具体的な活動内容)

分科会名	活動内容
セミナー・シンポジウム	JICA-JISNASフォーラム、JISNAS-FAO合同セミナー等の企画・運営
雑誌	「農学国際協力」編集委員会(雑誌の企画、編集、刊行)
国際協力	技術協力等の国際協力事業への対応
国際研究	ネットワークと協力機関との連携強化、国際共同研究情報の収集・提供
人材育成	若手研究者・学生の国際キャリアアップ、リクルート支援

JISNASの運営組織の構成



ネットワークの活動



オープンフォーラム・セミナー・メールマガジン

当センターでは、農学分野の国際教育、国際共同研究および国際協力における重要な課題を取り上げ、テーマに造詣の深い研究者や実践者を国内外から講師として招待し、大学関係者だけでなく一般市民も参加できる形式でオープンフォーラムを時機に応じて開催しています。また、研究者や学生、一般市民を対象とするオープンセミナーを年に数回開催し、途上国における



オープンフォーラムでのグループディスカッション



オープンセミナーでは様々な国からの講師が講演

開発のための農学研究や国際協力に関わっている専門家などに講演していただいています。また、当センターが現在実施している研究活動などについて、年4回ほどメールマガジンを配信しています。